



Frets

フェンダーの伝説的な(信じがたい)演奏の仕易さは、低くとりつけられたフレットによるところが大であります。このフレットは、ニッケル・シルバーでできており、人念に取り付けられ、絹の様なスムーズさになるまで研磨されています。

Straight String Pull

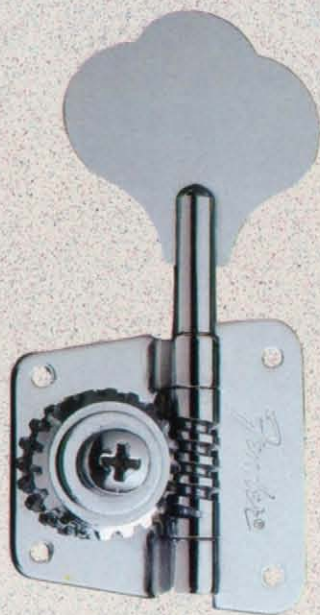
フェンダーは、ヘッドストックの片側に沿って全て6つのチューニング・マシーンを取り付けるという概念を一般的なものとしました。ギターのカバーのチューニング、糸巻きがより簡単になったことに加え、この方法は、6つの弦がすべて、まっすぐに通るということを可能にしています。

String Retainers

新しいフェンダーのギターは、1〜4弦にリタイナーを組み込んでいます。ナットのそばでしっかりと弦を押えることによって、共振を防ぎ、サスティーンを最大限に引き出します。

Tuning Machines

フェンダーのチューニング・マシーンは、操作し易く、すべらないのが特徴です。切り込まれたポストデザインは、非常に糸巻きを容易にし、鋭く上がった弦の先の危険を除去します。



ELECTRONICS

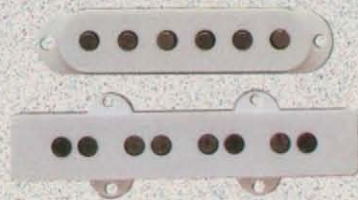
フェンダーギターは、純粋にアンプを通して演奏する音楽のために、デザインされたので、それ以外の注意が、ピックアップ・トーン・コントロール、そして他の全ての電気部品のデザインに払われました。ビンテージのフェンダーギターに対する、絶えることなき要求は、フェンダーの初期のデザイン決定が、非常に正しかったということの証明に他ありません。しかし、このカタログのすみずみまで見ていただければわかりますが、技術の進歩は、現在の様々なモデルのエレクトロニクスにおいて、数多くの改良を可能にしているということがおわかりになると思います。

Pickups

ピックアップのデザイン及び製造という全てのテーマを取りまくものには、魔法の強い“オーラ”の様なものがあるのは事実ですが、現代の電気理論は、ギターのパックアップに関して含まれている全ての要因及び不必要なものを理解することを可能にしています。主として、新しい科学は、フェンダーの初期の“cut and try”による進化の成果を確実なものとしています。私たちは今でも、シングルコイル・ピックアップのコンビネーションが、全てのプレイヤーにとって最も多方面に使えるセット・アップであると信じています。し

かし、ハンパッカーの独得のサウンドを好むギタリストのためには、私たちは、リードⅠ、リードⅢで得られる最良のハンパッキングピックアップを設計しています。

重要な事実、ピックアップのデザインに魔法のような一定の法則はない、ということです。ひとつのことを改良すると、他の何か犠牲になります。例えばピックアップをよりホットに作ることは、何の問題もなくできます。しかし、その過程において、高い周波帯のレスポンスは犠牲にされてしまうでしょう。(そしてたぶん、サスティーンも同様に) 私たちは新しいフェンダーのピックアップが可能な限り、最高の独自のコンビネーションを与えてくれると信じています。



Pickup Switching

フェンダーピックアップのスイッチは、トーンの可能性の並はずれたワイド・レンジを最高に表現する様に設計されています。いくつかのモデルは、9種類以上の異なるピックアップのコンビネーションが得られますし、いくつかのハンパッキングを装着したモデルはピックアップの両方のコイルの別々のスイッチングが、直列、並列の選択と同様に可能にしています。ここに、全てのフェンダーギターにおいて異なる音が得られる全ての世界があります。

